



多文化共生
男女共同参画推進

交流室だより



発行：東村山市市民部市民相談・交流課

TEL042-393-5111 (内) 1140・1141



☆☆☆交流室フェスタ☆☆☆ 2017年11月11日 土



今年も開催します！ 小さなお子様から大人の方まで楽しめます♪

「交流室フェスタ」は、「多文化共生・男女共同参画推進交流室」を多くの方に知ってもらい、利用してもらえよう、交流室で普段行われていることなどを紹介するイベントです。多文化共生・男女共同参画に関するDVDの上映やパネル展、図書展示、講座の開催など、さまざまなプログラムを用意しています。ぜひお越しください。

11時半～
12時半

男女共同参画推進講座
～シニア世代の賢いマネーライフ～



終日

ヨーヨー釣り



クイズに答えてヨーヨー釣りに挑戦！
釣れなくても、1つ差し上げます。
※持ち帰りは1人2個まで

ゆとりあるセカンドライフに向けて、自分自身の老後について考えます。

講師：石森 久雄 氏（金融広報アドバイザー）
皆さまのご参加をお待ちしています。

終日

女性のための悩み相談



予約不要で、専門の女性相談員による無料カウンセリングを実施します。
※最終受付は15時半です。

13時半～
15時

親子で英語を楽しもう
～英語の交流会～



簡単な英語を使って会話を楽しんだり、英語の絵本を読み、英語に触れてみましょう。
お子さまとお父さん・お母さんのご参加をお待ちしております。

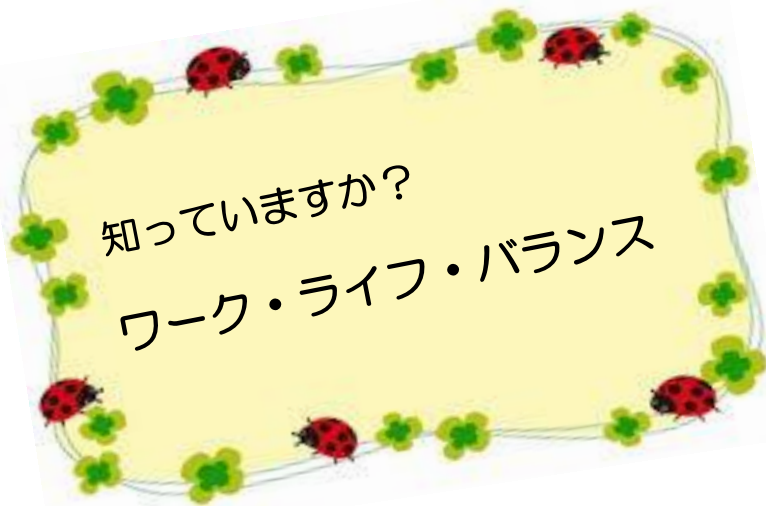
終日

DV防止啓発パネル展示
図書の展示・DVDの上映



DV被害について、Q&Aやイラストでわかりやすく説明します。
また、男女共同参画・多文化共生に関連する図書の展示と、DVDを上映します。





この頃、ワーク・ライフ・バランスという言葉をよく耳にしませんか。ふい〜りんぐ37号（H29、9発行）で、平成29年4月からスタートした「第3次となる東村山市男女共同参画基本計画」を特集していますが、その計画目標のトップを飾るのは、『ワーク・ライフ・バランスの推進』です。でも、ワーク・ライフ・バランス？何？と疑問に思っている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

ワーク・ライフ・バランスという言葉は「仕事と生活の調和」と訳されます。この言葉を「仕事」と「生活」のどちらかを大切にすることのように思う方がいるかもしれませんが、仕事と生活、どちらか一方を犠牲にするものではありません。仕事と生活は、互いに相反するだけではないからです。生活が充実することで仕事が効率的にすすみ、仕事がうまくいけば私生活も充実する、仕事と生活の「相乗効果」を生み出します。

ワーク・ライフ・バランスという考え方は1980年代にアメリカで生まれたと言われていています。最近、日本で特に注目されるようになったのは、国が働き方改革の実施を宣言し、日本人の働き方を見直そうという機運が高まってきたからです。

国は『ライフ・ワーク・バランス』が実現された社会を「国民一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できる社会」と定義しています。

働く誰もが仕事にやりがいや充実感を感じ、そして健康的に過ごせ、青年期・子育て期・中高年期と変化するステージに合わせて、家族・友人などとの充実した時間、キャリアアップや地域活動等への参加のための時間が持てる、豊かな生活を送ることができる社会の到来が期待されます。国・自治体・企業のより一層の取り組みと、働く私たちがこれまでの働き方を見直すことがポイントになります。

平成29年度 男女共同参画推進講座報告

★ワーキングマザーサロン@ころころの森★

「母となってはたらく」をテーマに考え、語り合うワークショップ形式の講座を、9月12日（火）に子育て総合支援センター「ころころの森」で開催しました。NPO法人マドレボニータの八田吏氏の進行で、人生・仕事・パートナーなどについて一人の女性として自分のことを語りあう時間を持ちました。



～参加者の感想～

- 自分以外の人も、みんな悩みながらいい意味で貪欲だとわかり心強かった。
- 普段自分のことを話す機会がなかったので、改めて話すことで「自分はこういうことを考えていたんだ」と発見した。



「少子高齢化」「多文化共生」といった言葉をご存知ですか。

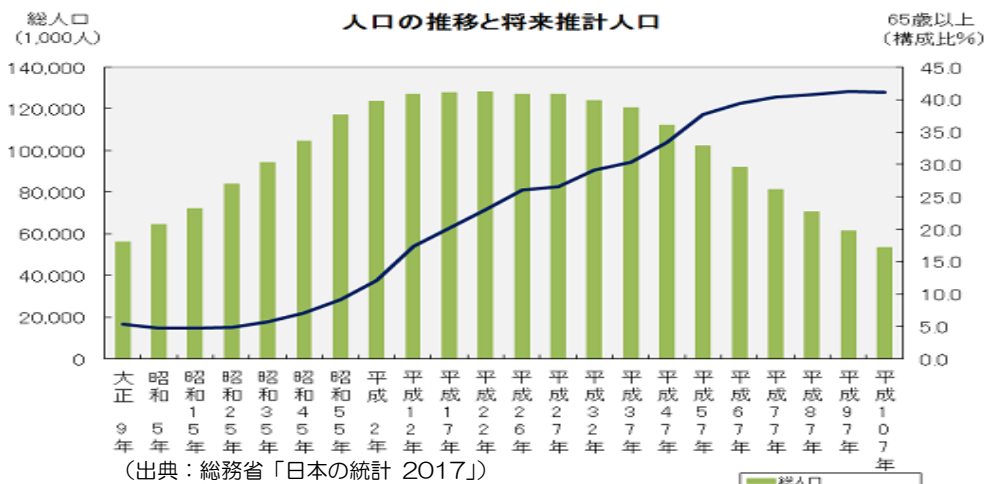
いずれの言葉も日本の将来と深く関係するものです。



少子高齢化が進む日本社会では、労働人口の減少や、社会保障負担の増大など、どれも深刻な課題になっています。

その一方、総務省の統計では、今日本に住む外国人の数は230万人を超え、2016年度調査で前年より7万人増え、その数は過去最高となりました。

年々増えつつある外国人と、どう付き合っていくのか、外国人との共生生活を考えなければなりません。



多文化社会の到来に向けて

東村山市には2,400人を超える外国人市民が住んでいます。東村山市では国籍や民族のちがいを認め合い、だれもが安心して暮らせる「多文化共生のまちづくり」を推進しています。東村山市をもっと住みやすいまちにするために、東村山市に住んでいる18歳以上の外国人1,000人、日本人1,000人に、無記名のアンケート調査をしました。ここで、アンケート結果のうち、「多文化共生」に関する内容を紹介していきます。

外国人市民	日本人市民
Q: 「多文化共生のまちづくり」を進めていく時にやってみたいこと?	
「A. 日本の文化や、生活習慣を、理解するように頑張る」を「とてもしたい」が48.5%と特に多い。また、「《したい》(「とてもしたい」「機会があればしたい」の合計)でみると、「A. 日本の文化や、生活習慣を、理解するように頑張る」が86.8%に達している。この他、「C. 地域の日本人の住民との、交流会など、国際交流の行事に参加する」は73.3%、「B. 母国の言葉や文化を、日本人の住民に紹介する」は68.3%、「D. 地域のイベントや、まちづくりの活動の、企画や運営などに、参加する」は61.3%と、いずれも過半数となり、まちづくりへの参加意向は高くなっている。	《《したい》(「おおいにしたい」「機会があればしたい」の合計)でみると、「C. 地域の外国人の住民との交流会など、国際交流の行事に参加する」が55.6%、「A. 外国の文化や生活習慣を理解する」が76.6%、「B. 日本語や日本文化を外国人の住民に紹介する」(64.6%)、「D. 外国人の住民にもまちづくりのメンバーとして地域で活躍できる環境づくりをする」(63.6%)が6割台となっており、まちづくりへの参加意向は高くなっている。
Q: 「多文化共生のまちづくり」を進めていく時にあたっての希望?	
「A. 日本人市民には、外国の文化や、生活習慣を理解するように、努力してほしい」と「B. 日本人市民には、日頃から、外国人市民と、会話をしてほしい」を「とても望む」は3割台と比較的多い。また、「《望む》(「とても望む」「どちらかといえば望む」の合計)でみると、「B. 日本人市民には、日頃から、外国人市民と、会話をしてほしい」(77.7%)、「A. 日本人市民には、外国の文化や、生活習慣を理解するように、努力してほしい」(76.0%)、「C. 自国の文化や、習慣を、日本人市民に紹介する」(70.8%)で7割台と多くなっている。一方、「D. 日本人市民には、外国語を覚えるように、努力してほしい」は49.6%にとどまっている。	「おおいに望む」は、「A. 日本の文化や生活習慣を理解するよう努める」が50.4%、「D. 日本語を覚えるように努力する」が43.5%となっている。また、「《望む》(「おおいに望む」「どちらかといえば望む」の合計)でみると、ほとんどの項目が8割以上となっており、「A. 日本の文化や生活習慣を理解するよう努める」や「D. 日本語を覚えるように努力する」は9割近くとなっている。

(出典:「東村山市第2次多文化共生推進プラン策定に係る市民意識調査 報告書 平成29年3月」)

*「東村山市第2次多文化共生推進プラン策定に係る市民意識調査」は市のHP、市役所1Fの情報コーナーと中央図書館で閲覧できます。



おしらせ

東村山市民に生活をより楽しんで頂くために、
毎年様々なイベントを開催します。

第3回語学学習者による多言語スピーチ大会

日時：平成29年10月14日（土）

午後2時～午後4時

会場：市民センター2階（第1・第2会議室）

スピーカーは、英語（東村山市国際友好協会）・中国語（東村山市日中友好協会）・韓国/朝鮮語（東村山地球市民クラブ）・日本語の学習者です。日頃の成果を披露します。様々な言語でのスピーチと多文化共生の雰囲気、ぜひお楽しみください。

防災研修（日本語教室の学習者への防災講座）

日時：平成29年11月25日（土）

午前10時30分～正午

会場：市民センター

多摩六都10ブロックサーキット講座

第1回

日時：平成29年12月1日（金）

午後6時30分～午後8時30分

会場：北庁舎2階第4会議室

内容：日本語教室のボランティアの質問に専門家が答える。

講師：東京の日本語教育を考える会

代表 中山 眞理子氏（文学博士）

第2回

日時：平成29年12月15日（金）

午後6時30分～午後9時

会場：北庁舎1階第2会議室

内容：ワークショップを通して、わかりやすい日本語（やさしい日本語）の使い方を学びます。

講師：東京の日本語教育を考える会

代表 中山 眞理子氏（文学博士）



お問い合わせは、下記まで

市民相談・交流課 多文化共生係

TEL：042-393-5111（代）

内線 2558・2559

外国人のためのリレー専門家無料相談会

日時：平成29年12月3日（日）

午後2時～午後4時30分

会場：コンベンションホール（サンパルネ2F）

色々な専門家がいます。色々な相談が出来ます。色々な言語の通訳がいます。

一人で悩まずにぜひ相談に来てください。

市民カレッジ

第1回

日時：平成30年1月13日（土）

午後1時30分～午後3時30分

会場：中央公民館

内容：外国人防災と難民支援

講師：鶴木 由美子 氏

第2回

日時：平成30年1月27日（土）

午後1時30分～午後3時30分

会場：中央公民館

内容：日本の移民政策について

講師：毛受 敏浩 氏

外国人おもてなし語学ボランティア育成講座

日時：平成30年2月10日（土）

午後1時～午後4時30分

会場：市民センター 第1・2会議室

内容：東京都と連携し、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を見据え、外国人観光客が安心して滞在できる環境を整えるため本講座を開催します。

防災語学ボランティア養成講座

日時：平成30年2月24日（土）

午後2時～午後4時

会場：市民センター 第1・2会議室

内容：防災知識を学び、更にロールプレイで実践力をUPします。

講師：山浦 育子 氏

皆様のご参加を
お待ちしております！

